

BT戦略大綱の総括

平成20年3月17日

内閣府

BT戦略大綱の概要

～ 三つの戦略が切り開く「生きる」、「食べる」、「暮らす」の向上 ～

大きな跳躍を目指した三つの戦略

戦略1：
研究開発の圧倒的充実

戦略2：
産業化プロセスの抜本的強化

戦略3：
国民理解の徹底的浸透



BTにより実現される社会像

よりよく「生きる」

よりよく「食べる」

よりよく「暮らす」

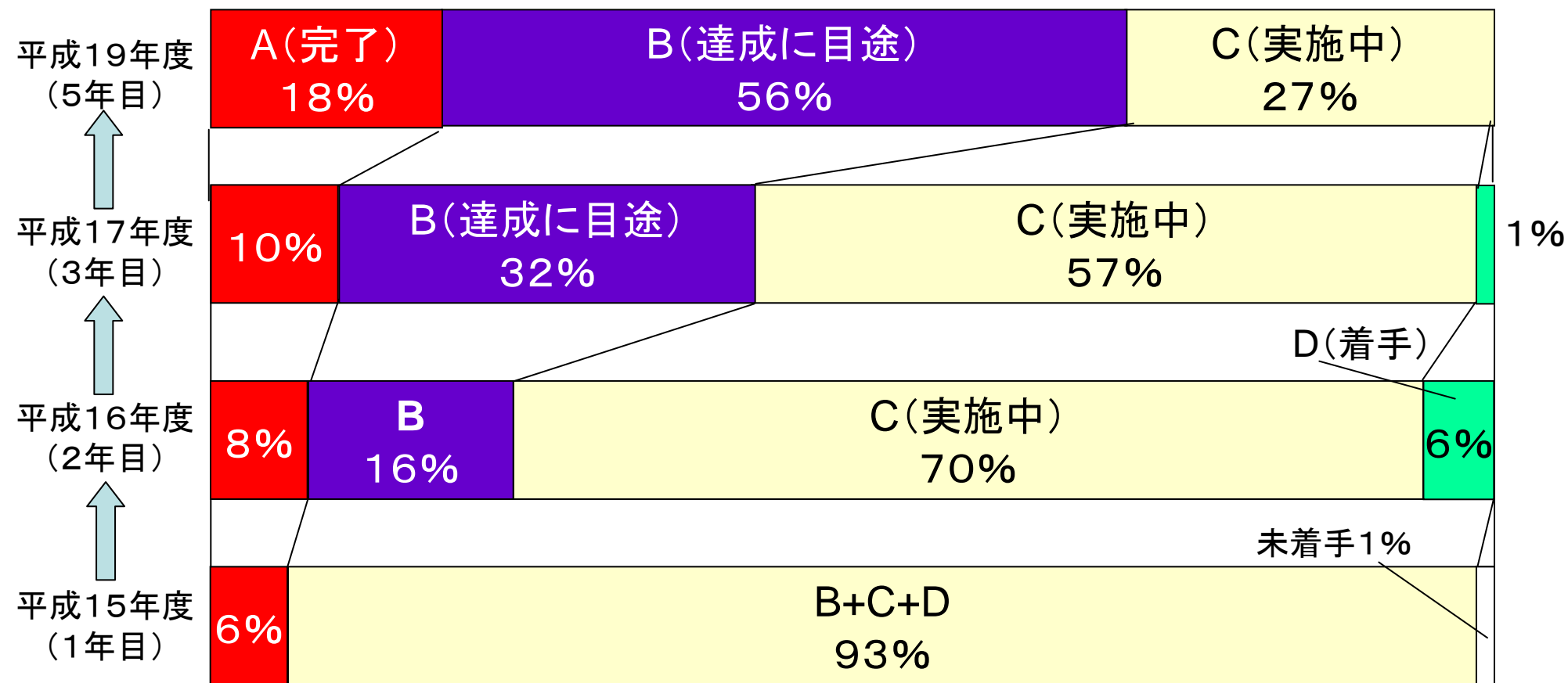
- ・世界への貢献
- ・国際競争力の向上
- ・新産業創出

行動計画

50の行動指針、88の基本行動計画、200の詳細行動計画

詳細行動計画の進捗状況

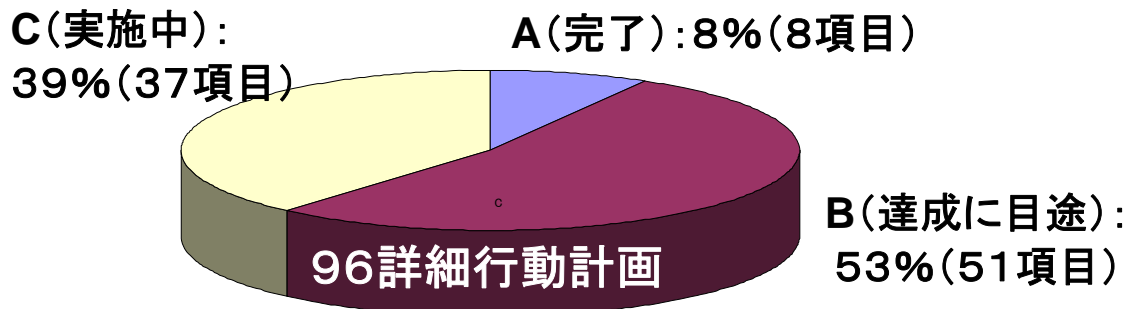
200の詳細行動計画



平成17年度と比較し、A: 10%→18% (20→35)、B: 32%→56% (64→111)、C: 57%→27% (114→54)、D: 1%→0% (2→0) となった。

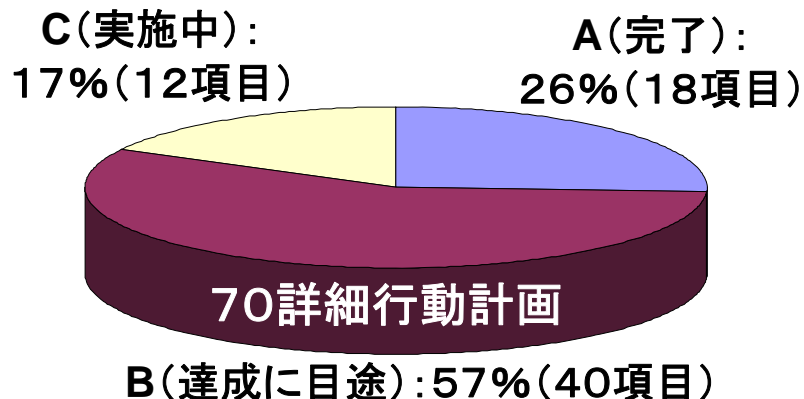
3つの戦略ごとにみた詳細行動計画の進捗状況

—戦略1：研究開発の圧倒的充実—



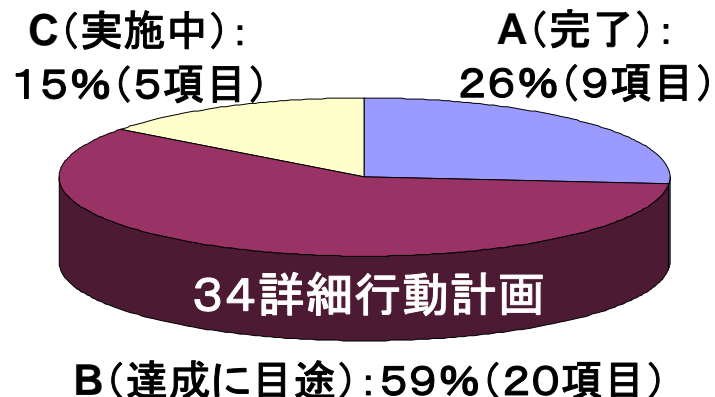
平成18年1月と比較し、A: 3%→8%(3→8)、B: 23%→53% (22→51)、C: 73%→39%(70→37)、D: 1%→0%(1→0) となった。

—戦略2：産業化プロセスの抜本的強化—



平成18年1月と比較し、A: 17%→26%(12→18)、B: 39%→57% (27→40)、C: 43%→17%(30→12)、D: 1%→0%(1→0) となった。

—戦略3：国民理解の徹底的浸透—



平成18年1月と比較し、A: 15%→26%(5→9)、B: 44%→59%(15→20)、C: 41%→15%(14→5) となった。3

まとめ

- BT戦略大綱に規定された詳細行動計画の200項目については、平成19年末現在、完了が35(18%)、達成に目途が111(56%)、実施中が54(27%)となっている。
- 行動計画全般では、これまでの精力的な取組により、約70%が「完了」あるいは「達成に目途」となっており、残りの項目も全て「実施中」であることから、平成14年にBT戦略大綱が目指した目標は、達成されている状況にある。

詳細行動計画実施状況の評価基準

(1) 施策ごとの評価の基準

200の詳細行動計画の目標レベルは「体制整備」、「制度運用」、「研究開発」、「情報発信」など多様なため、以下のような達成段階イメージを基準として、根拠となる実績に基づいて担当府省が各施策を評価。

基準1 体制整備

(有用資源等を体系的に収集・管理する
体制の整備等の場合)

- A: 体制を本格的に稼働
- B: 体制を拡大稼働
- C: 体制を試験的に始動
- D: 体制設計に着手
- E: 未着手

基準3 研究開発

(具体的な研究開発目標等を掲げた
研究開発の場合)

- A: 研究開発目標を達成
- B: 目標達成できる目途がたっている
- C: 目標達成に向けて研究開発を実施中
で、成果があがりつつある
- D: 目標へ向けた研究開発に着手
- E: 未着手

基準2 制度運用

(制度の運用推進の場合)

- A: 制度をすべての対象に適用
- B: 制度をほぼすべての対象に適用
- C: 制度を多くの対象に適用
- D: 制度を一部に適用
- E: 制度を未運用

基準4 情報発信

(国民理解増進のための情報の発信等の場合)

- A: 情報発信のための施策をすべて実施
- B: 情報発信のための施策をほぼ実施
- C: 情報発信のための施策を一部実施
- D: 情報発信のための施策案を検討
- E: 未着手

詳細行動計画実施状況の評価基準

(2) 総合評価の基準

詳細行動計画の各項目ごとの総合評価については、関係府省の施策ごとの実施状況評価をもとに、内閣府が以下の考え方で整理し、内容を精査した上で判断。

1. 詳細行動計画が一つの府省のみで実施されている場合、あるいは関係する全府省で実施状況が一致している場合、総合評価はその実施状況とする。
2. 一つの詳細行動計画に複数の府省が取り組んでいて、実施状況に差がある場合、総合評価としては以下の考えで判断する。
 - 1) Eが一つでもあれば、全体をEとする。
 - 2) Aは全ての関係府省がAで一致した場合のみとする。
 - 3) それ以外の場合、DからAまでを1-4ポイントとし、平均値を四捨五入し、そのポイントをDからBまでに置き換える。

(例)

①C、C、D、B、A、D の場合

$(2+2+1+3+4+1) / 6 = 2.1 \dots$ 四捨五入値 = 2 → 「C」

②A、A、B の場合

$(4+4+3) / 3 = 3.6 \dots$ 四捨五入値 = 4 → 数値としては「A」だが、
全部Aではないので「B」

③E、C、C、B の場合

Eがあるので 「E」

④A、A、A の場合

全部Aなので 「A」